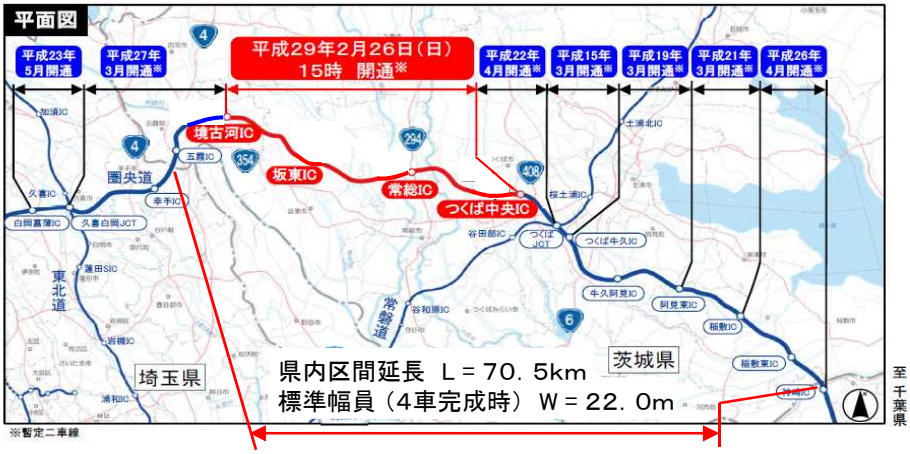
圏央道による利便性向上と企業立地の進展

ー　県内区間が全線開通（H29.2.26）　ー

＜首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の機能・役割＞

- ◆ 首都圏の道路交通の円滑化　・・・・・　郊外から都心への交通を分散するとともに，通過交通をバイパスさせます。
- ◆ 災害時等の緊急輸送道路の確保　・・・・・　災害などで通行不能な区間が生じても，代替ルートが確保できます。
- ◆ 沿線の地域づくりの活性化　・・・・・　首都圏の広域交通ネットワークを形成することにより，沿線地域において企業立地・市場拡大・生産活動等の活性化が図られます。



（出典）平成28年12月20日 国土交通省記者発表資料　※一部追記加工

茨城県における圏央道の整備効果

◆ 沿線では，開通を見据え，すでに多くの企業が立地！

（出典）平成28年12月20日
国土交通省記者発表資料
※一部加工

茨城県の工場立地は全国トップレベル！

経済産業省の工場立地動向調査において，平成25年から平成27年まで，3年連続で工場立地件数，立地面積，県外企業立地件数の3部門で第1位【3年連続3冠】

更なる企業誘致に向けた取組が活発化！

- ・坂東インター工業団地（坂東市）
- ・インター周辺開発（常総市，境町，五霞町）
- ・スマートICの設置検討（つくば市）

◆ 茨城県から首都圏各地へ，混雑する都心を通らず快適にアクセス！

（例）常磐道つくばJCTから東名高速海老名JCTまで，都心の渋滞を考慮すると，約40分間の短縮

（注）都心が混雑した場合の例示であり，実際の移動時間は交通状況により変動します。

★ 圏央道を利用した場合の主要地点間の距離・所要時間（目安）

上段：距離（km）
下段：時間（分）

	海老名JCT	八王子JCT	鶴ヶ島JCT	久喜白岡JCT	境古河IC	つくば中央IC	つくばJCT	阿見東IC	成田IC
境古河IC	116.0 86	87.2 65	47.1 34	19.5 17		28.4 24	32.7 28	46.2 40	78.1 66
つくば中央IC	144.4 110	115.6 89	75.5 59	47.9 41	28.4 24		4.3 4	17.8 15	49.7 41
つくばJCT	148.7 114	119.9 93	79.8 62	52.2 45	32.7 28	4.3 4		13.5 12	45.4 37
阿見東IC	162.2 126	133.4 104	93.3 74	65.7 56	46.2 40	17.8 15	13.5 12		31.9 26
水戸IC	196.1 143	167.3 121	127.2 91	99.6 73	80.1 56	51.7 32	47.4 28	60.9 40	92.8 66

（注1）距離は，すべて高速道路を経由するという条件で算出。
（注2）時間については，現時点での最高制限速度で走行できるとの仮定で計算したもの。茨城県高速道路対策室の独自試算であり，国等が発表する数値と相違する場合がある。